

# 保育におけるスロー・ペダゴジー

## Slow Pedagogies in Early Childhood Education

2023年3月18日 (土) 16:30-18:30 (開場 16:15)

オンライン開催

同時通訳あり 参加費無料 事前申込制 (先着1000名)

社会の急激な変化の中で、子ども時代も「加速化」しているように思われます。アリソン・クラーク氏は、乳幼児期の「時間」を問い直し、加速化の流れに対抗する「スロー・ペダゴジー (slow pedagogy)」「スロー・ナレッジ (slow knowledge)」の価値を主張しています。本シンポジウムでは、最近のご著書である "Slow knowledge and the unhurried child: time for slow pedagogies in early childhood education" に基づいてスロー・ペダゴジーについてご講演いただきます。急がない子ども、急がない大人を可能にする実践とはどのようなものかについて考えます。

司会 野澤 祥子 (東京大学 CEDEP 准教授)

### 講演

#### アリソン・クラーク

(PhD. Professor of Early Childhood Education at University of South-Eastern Norway, Honorary Senior Research Fellow, UCL Institute of Education, London, UK.)

森 眞理 (神戸親和女子大学教授)

### 指定討論

秋田 喜代美 (学習院大学教授・東京大学名誉教授)

### 閉会挨拶

浅井 幸子 (東京大学 教授/CEDEP 副センター長)



アリソン・クラーク Alison Clark

サウス・イースタン・ノルウェー大学 教授  
UCL教育研究所名誉上級研究員

ピーター・モス教授とともに、幼児の意見や経験を聴くための視覚的で参加型の研究枠組みであるモザイク・アプローチを開発。研究テーマは、子どもの権利、スローペダゴジー、乳幼児期の環境など。

申し込み方法：CEDEPウェブサイトにて

<https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/eventlisting/symposium/20230318symposium/>